

家庭ごみ収集における「有料指定袋制」導入に向けた 基本方針に対する市民意見について

京都市では、昨年 10 月に、「京都市廃棄物減量等推進審議会」からの答申を尊重して、より一層のごみ減量・リサイクルの促進に向けた、「家庭ごみ収集における有料指定袋制の導入に向けた基本方針」を策定しました。

この基本方針の内容について、10 月 3 日から 1 ヶ月間の市民意見の募集（パブリック・コメント）を実施するとともに、市民の皆様にご説明し、広くご意見をお聞かせ願うため、10 月初めから 12 月中旬まで、市内各学区や市内全域を対象に、延べ 212 回にわたり意見交換会を開催しました。そのほか、各区でのふれあいまつりや出前トークなど、あらゆる機会を通じて広く市民の皆様にご説明するとともに、多くのご意見を聞かせていただきました。

この度、お寄せいただきました多数のご意見について、次のとおり、その内容を分類し整理しましたので、お知らせします。

これらのご意見については、市民の皆様のご理解とご協力により、この制度がより有効なごみ減量、脱温暖化につながるものとなるよう、最終方針の策定に可能な限り生かしてまいります。

1 市民意見の募集（パブリック・コメント）の状況

- （1）募集期間 平成 17 年 10 月 3 日～11 月 2 日
- （2）周知方法 市民しんぶん，区役所等でのビラ配布，京都市ホームページ，意見交換会，出前トーク，マスコミ報道 等
- （3）提出方法 郵送，ファクシミリ，電子メール，直接持参 等
- （4）意見書数 763 通（2,103 件）

〔参考〕

市民意見の募集（パブリック・コメント）の意見内容については、平成 17 年 12 月 26 日に広報発表しました。

2 意見交換会の状況

- （1）開催期間 平成 17 年 10 月 4 日～12 月 19 日
- （2）開催回数 212 回
- （3）参加人数 延べ 7,279 人
- （4）提出された意見書の状況 4,648 通（7,100 件）
- （5）発言された意見の状況 2,612 件

3 その他の機会における意見書提出の状況

- (1) 提出機会 出前トーク，ふれあいまつり，区役所・支所等における「基本方針」パンフレットの配布等
- (2) 提出方法 郵送，ファクシミリ，電子メール，直接持参 等
- (3) 提出された意見書の状況 266 通（444 件）

4 意見書の状況

(1) 意見書の分類整理について

有料指定袋制についての考え方	市民意見の募集		意見交換会		その他の意見書		合計	
	意見書数	意見件数	意見書数	意見件数	意見書数	意見件数	意見書数	意見件数
肯定的な意見	359 通	802 件	1,067 通	2,244 件	177 通	208 件	1,603 通	3,254 件
否定的な意見	301 通	1,025 件	955 通	2,342 件	55 通	162 件	1,311 通	3,529 件
分類できない意見	72 通	221 件	910 通	1,729 件	25 通	70 件		
その他	31 通	55 件	629 通	785 件	3 通	4 件		
意見欄白紙			1,087 通		6 通			
合計	763 通	2,103 件	4,648 通	7,100 件	266 通	444 件		

* 有料指定袋制についての考え方の分類整理については，肯定的な意見として，「賛成する・良いと思う・制度を導入すべき・妥当である・反対しない」等の語句を，一方，否定的な意見として，「反対する・納得できない・現状では賛成できない」等の語句を記載しているものを中心に抽出しました。

(2) 意見書の概要について

肯定的な意見の概要

< 制度への提案や要望として，次の 3 点の意見が多かった >

- ア 指定袋の価格を安くして欲しい。(334 件)
- イ 不法投棄への危惧があり対策が必要である。(233 件)
- ウ 不適正排出への危惧があり対策が必要である。(152 件)

否定的な意見の概要

< 有料化に反対する理由として，次の 3 点の意見が多かった >

- ア 有料化の前に市収集の分別を徹底すべきだ。(494 件)
- イ 不法投棄が増加するから有料化には反対だ。(234 件)
- ウ 市民ではなく事業者に負担を求めるべき。(232 件)

分類できない意見では，次の 3 点の意見が多かった。

- ア 指定袋の価格が高い。(261 件)
- イ 不法投棄への危惧がある。(207 件)
- ウ 市収集の分別を徹底すべきだ。(113 件)

その他の意見（有料指定袋制に触れていないもの）では，次の 3 点の意見が多かった。

- ア 事業者責任の追及が必要である。(65 件)
- イ 市民のリサイクル機会の拡大を図る必要がある。(54 件)
- ウ 市収集の分別を徹底すべきだ。(48 件)

(3) 意見交換会での説明に対する理解について

意見記入用紙で、当日の説明や質疑応答について、「理解できた・理解できなかった・どちらともいえない」とのアンケートをお願いしたところ、次のような結果となりました。

(意見書数4,648通のうち)

	理解できた	理解できなかった	どちらともいえない	不明・未記入
基本方針	1,770通	1,150通	1,020通	708通
について	38%	25%	22%	15%
質疑・応答	1,233通	998通	2,115通	302通
について	27%	21%	46%	6%

5 意見交換会における発言意見の状況

(1) 意見数について

2,612件

* 口頭発言による意見については、できる限り詳細に筆記し、件数を計上しましたが、発言者数については、複数の方が同時に発言される場合もあったことなどにより、発言者数の全てについては、把握できませんでした。

(2) 意見の概要について

肯定的な意見の概要

<全体として554件の意見があった>

ア 温暖化対策のため取組むべきである。

イ 指定袋の料金をもう少し安くできないか。

ウ 不法投棄が増える懸念があるため、対策をしっかりと講じるべき。

否定的な意見の概要

<全体として1,324件の意見があった>

ア 有料化の前に、分別・リサイクルを徹底すべき。

イ 不法投棄が増加するから有料化には反対だ。

ウ 市民ではなく事業者に負担を求めるべき。

どちらとも取れる意見

<全体として734件の意見があった>

ア 現状のごみの出し方に関するもの。

イ 事業系ごみに関するもの。

ウ ごみ出しマナーに関するもの

別紙1 市民意見の募集(パブリック・コメント)の内容について

別紙2 意見交換会その他で提出された意見書の内容について

別紙3 意見交換会における発言意見の内容について